

## - 学習の確認 -

今週 5/16の 学習内容	国語1	「時計の時間と心の時間」 1/2
	国語2	論、否、策、割、欲、除
	算数	分数のかけ算
	社会	天皇中心の国づくり 3/3

来週 5/23の 学習予定	国語1	「時計の時間と心の時間」 2/2
	国語2	専、捨、班、座、至、我、幕
	算数	運動会練習のため、授業はありません。
	社会	貴族のくらし

今週の 宿題	国語1	・音読1枚 ・作文プリント1枚 ・ドリルの王様P13～14 ※丸つけをして提出です。
	国語2	・「漢字の学習」※授業で終わらなかったところ ・漢字テスト勉強
	算数	・算数ドリル17、18 ※丸つけをして提出です。
	社会	・教科書P41～47までの音読 ・ドリルの王様P11、12、15 ※丸つけをして提出です。

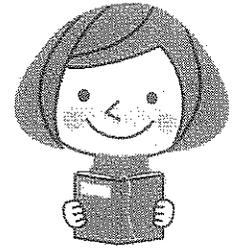
## お知らせ

- 懇談会にご出席された保護者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。
- 来週から運動会練習が始まりますので、運動ができる服装できてください。水も通常よりも多めにご準備ください。
- 再来週はオープンハウスがあります。詳細につきましては、来週の通信でお知らせいたします。

来週5/23の持ち物：運動のできる服装、多めの水

5月16日

# 音読カード



出席番号 番号 名前

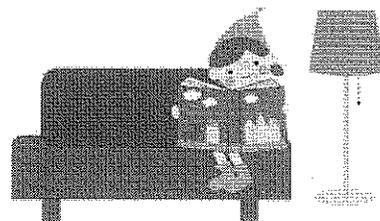
## ☆指定音読

◎よくできた ○できた △もう少し

	声の大きさ、速さに 気をつけて読めたか	難しい言葉や漢字の 意味がわかったか	文章の大まかな内容を つかめたか
時計の時間と心の時間 P36～41			
社会教科書 P41～47			

## ☆自由音読

月/日	本・ページ	声の大きさ、速さに 気をつけて読めたか	文章の大まかな内容を つかめたか



見ました◎



西大和学園補習校六年 漢字テスト

○①から④は漢字の読みを書きましよう。  
 ○⑤から⑧はひらがなを漢字にましよう。  
 ○⑨から⑩はひらがなを漢字にましよう。  
 ○⑪から⑫は漢字も書きましよう。

①	学級討論会。
②	否定グループ。
③	解決策が見つかる。
④	役割を決める。
⑤	意欲的に読む。
⑥	取り除く。
⑦	皿が割れる。
⑧	除雪車。
⑨	結論をまとめる。
⑩	テスト対策。

五月二十三日テスト

名前

⑪	うつしたがめん。
⑫	かんたんなじっけん。
⑬	つくえをゆびでたく。
⑭	とてもおどかしい。
⑮	だいにだんらく。
⑯	けんどうする。
⑰	きちょうなえいぞう。
⑱	これはなんもんだ。
⑲	ひっしやのいど。
⑳	じれいをあげる。

西大和学園補習校六年 漢字テスト

○①から○⑩は漢字の読みを書きましよう。  
 ○⑪から○⑭はひらがなを漢字にましよう。  
 今までに習った漢字も書きます。

①	がっきゅうどうろんかい	学級討論会。
②	ひてい	否定グループ。
③	かいけつさくみ	解決策が見つかる。
④	やくわりき	役割を決める。
⑤	いよくてきよ	意欲的に読む。
⑥	とのぞ	取り除く。
⑦	さらわ	皿が割れる。
⑧	じよせつしゃ	除雪車。
⑨	けつろん	結論をまとめる。
⑩	たいさく	テスト対策。

名前	五月二十三日テスト	
⑪	うっ	映した画面。
⑫	かんたん じっけん	簡単な実験。
⑬	つくえ ゆび	机を指でたたく。
⑭	おずか	とても難しい。
⑮	だいに だんらく	第二段落。
⑯	けんどう	検討する。
⑰	ちよう えいぞう	き重な映像。
⑱	なんちん	これは難問だ。
⑲	ひっしや いと	筆者の意図。
⑳	じれい あ	事例を挙げる。

5/16

# 国語一 授業プリント

## 時計の時間と心の時間

名前

① 筆者の考え(主張)を□の中に書きましよう。

② 「時計の時間」と「心の時間」について、まとめましよう。

・第二段落にある言葉を使って、二つの時間のちがいをまとめましよう。

時計の時間	
心の時間	

・「心の特性」の事例について、自分の考えを書きましよう。

段落	事例	自分の考え
③		
④		
⑤		
⑥		

・事例を受けて、第七段落で述べられている二つのことを書きましよう。

# 西大和学園補習校六年 漢字テスト

○①から⑩は漢字の読みを書きましょう。  
 ○⑪から⑳はひらがなを漢字にしましょう。  
 今までに習った漢字も書きます。

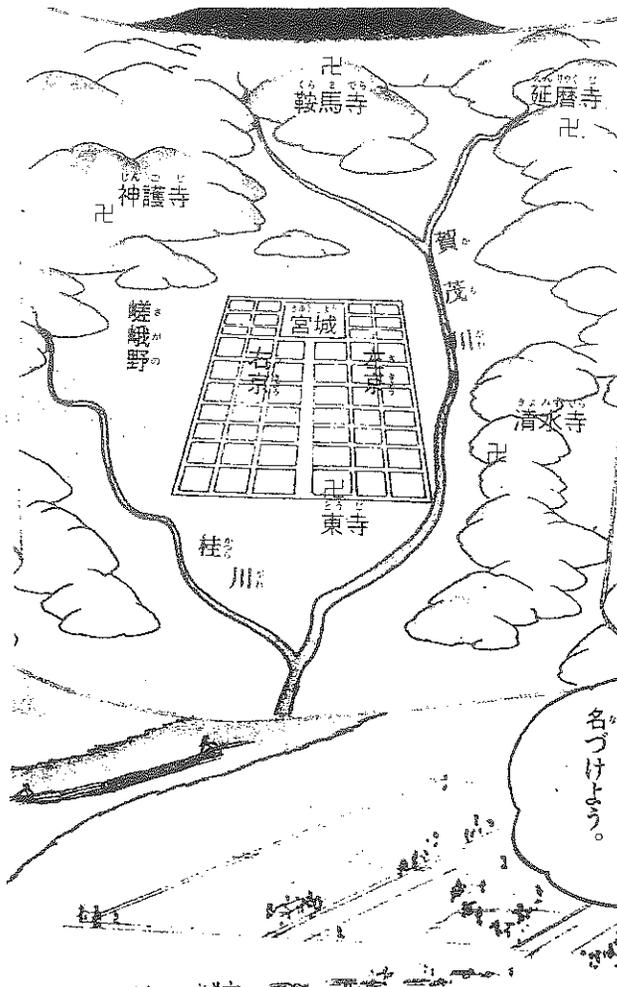
①	映した画面。
②	簡単な実験。
③	机を指でたたく。
④	とても難しい。
⑤	第二段落。
⑥	検討する。
⑦	き重な映像。
⑧	これは難問だ。
⑨	筆者の意図。
⑩	事例を挙げる。

# 五月十六日テスト

名前	
⑪	みっせつにかんけいしている。
⑫	のうがはんだんする。
⑬	よびおこす。
⑭	くうきをすらいお。
⑮	みちかなそんざい。
⑯	ちまつたじこく。
⑰	しげきがおおい。 刺
⑱	こぎゆうをととのえる。
⑲	こころにぎぎお。
⑳	はげしくながれる。

5/16  
1203

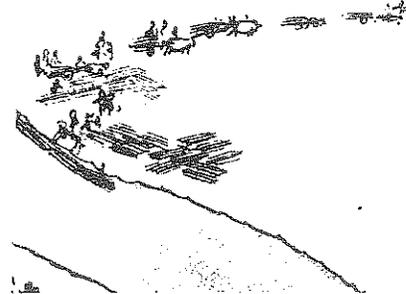
# 平安京の地図



よりの  
住みやす  
そした。

ここ山背国を山城国に改め、長岡京のような不幸なことがないように、平安京と名づけよう。

平安京は、唐(中国)の都の長安と洛陽をモデルにしたもの東西四・五キロ、南北五・大きな都でした。都が完成するまでには十年以上もかかる大事業となりました。



5/16

てんのう  
2 天皇中心の国づくり

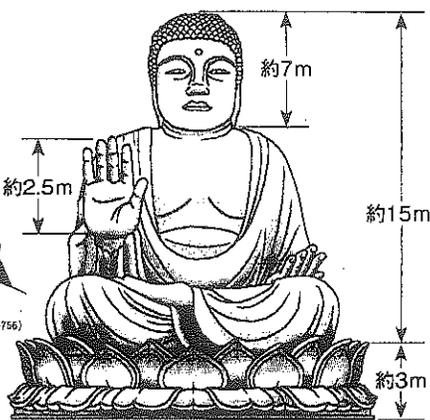
社会 6年生

今日のおさらい

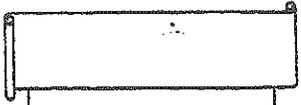
名前( )

これは聖武天皇が奈良につく  
らせた大仏です。学校の  
校舎が約15mなのでも  
大きいことがわかりますね。  
どうしてこのような大仏を  
つくらせたのでしょうか？

東大寺の大仏...752年に完成  
かいげん  
開眼式という盛大な式を行った。



聖武天皇の  
大仏造営について調べる

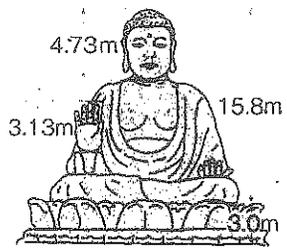


5/16

日

おぼえてくる？

5/16



# 社会 6年 小テスト

## 天皇中心の国づくり 名前 ( )

- ① 下の中で、聖徳太子に関係の深いことがらに○をつけましょう。
- ( ) 平城京をつくる      ( ) 十七条の憲法を定める      ( ) 遣隋使を送る
  - ( ) 全国に古墳を築く      ( ) 法隆寺を建てる      ( ) 中国から鑑真をまねく
- ② 聖武天皇が大仏づくりにこめた願いは次のうちのどれでしょう。正しいものを選んで ( ) に○をつけましょう。
- ( ) 豊かな生活をしている人々から富を集めて、国を豊かにしよう。
  - ( ) 伝染病や災害や反乱が次々と起こる不安な世の中を仏の力でしずめよう。
  - ( ) 日本にも天皇という力の強い人物がいることを朝鮮や中国の人々に知らせよう。
  - ( ) 仏教を広め、仏教の力を使って政治を安定させよう。
  - ( ) 金を塗り、大きな財産として次の子孫に残そう。



③ A~C の人物を下のボックスから <sup>えら</sup>選んで番号で答えなさい。

A ( <sup>ほうりゅうじ</sup>法隆寺を建てたよ。 )      B ( 中国からのお坊さん <sup>ぼうさん</sup> )      C ( 奈良の大仏 <sup>なら だいぶつ</sup> に関係 <sup>かんけい</sup> )



( )



( )



( )

① <sup>がんじん</sup> 鑑真	② <sup>てんじてんのう</sup> 天智天皇	③ <sup>ひみこ</sup> 卑弥呼	④ <sup>しょうとくたいし</sup> 聖徳太子
⑤ <sup>しょうむてんのう</sup> 聖武天皇	⑥ <sup>へいせいてんのう</sup> 平成天皇	⑦ ガンジー	⑧ <sup>そがし</sup> 蘇我氏

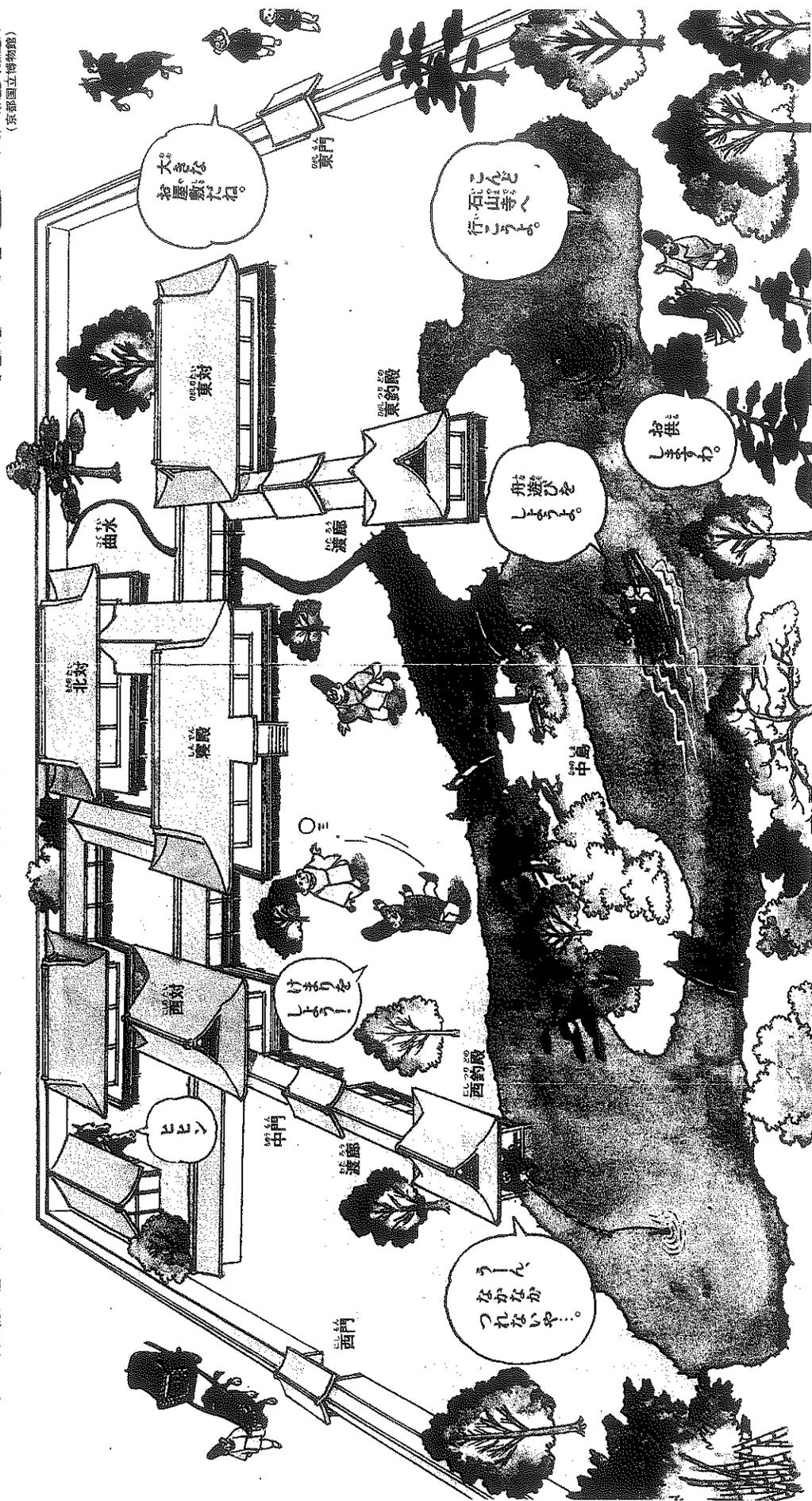
2015 5/16

# これが寝殿造りだ！

平安時代の華は、貴族の住まいに1つの形式ができあがりました。それが寝殿造りです。寝殿造りは、南の池のある庭に面した寝殿を中心に、対屋・渡廊など多くの建物が組みあわさってできています。

その広さは、ぶつう約120メートル四方もあり、とても広いものでした。中には、これより4倍もの広さを持つ寝殿造りもありました。  
 建物の中は、びよぶ・すだれ・ついでなどで尚仕切りされており、室内は振じきで、必要に応じてたみがしがけられました。

▲寝殿造りの建物のなかで、春を来し楽しむ女たち。(京都国立博物館)



5/6 CP 207

## 貴族の一日のくらしは...

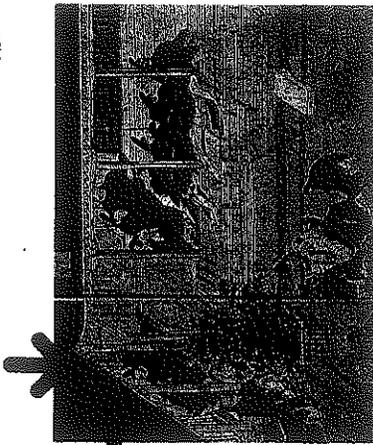
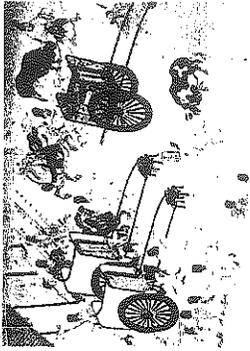
貴族は、平安時代の上級の役人であったため、そのおもな仕事は政務でした。

午前十時ごろに朝廷に出かけ、昼過ぎまで役所の仕事や会議、神事や仏事、季節の年中行事などをしました。しきたりにやかましい儀式が多かったので、貴族はその一つ一つを身につけるため、とても苦労しました。

こうした仕事を終えると、後は歌やおどり、音楽などを楽しみました。そうしたよりは、当時の絵巻などにたくさん残っています。

平安時代の貴族の教養は、歌や音楽だったのです。

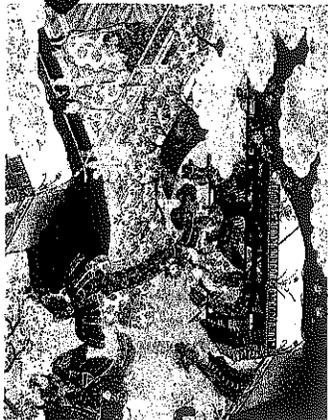
▲貴族たちは、朝廷へは、牛車に乗って出勤へしました。



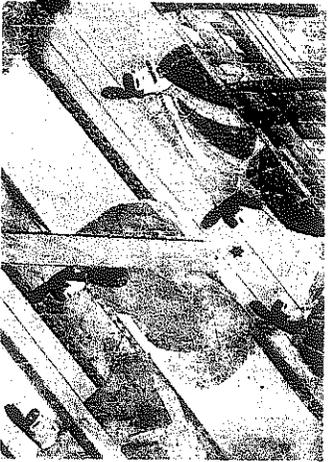
▲朝廷で儀式を行う貴族たち。こうして儀式が毎日のように行われていました。



▲けまりを楽しむ貴族たちが好んだ遊びの一つです。



▲舟遊びをする貴族たち。寝殿造りの池に舟を浮かべて、舟遊びを楽しみました。



▲音楽を楽しむ貴族たち。夜になると、このように音楽をしたり、詩歌を作ったりして、宴を開きました。



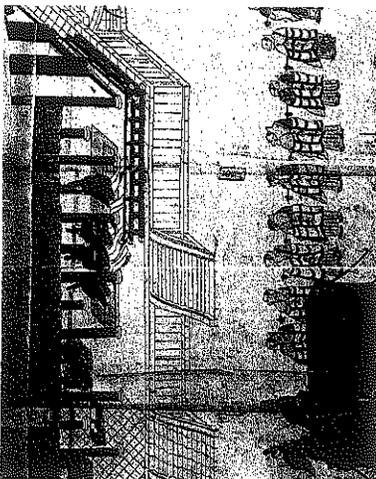
(五島美術館)

(京師国立博物館)

## おもな年中行事は...

貴族たちは、さまざまな年中行事を毎日のようにやっていましたが、そのおもなものをあげると、次のようになります。

- 一月 四方拝・小朝拝 (元旦の祝いの式)
- 二月 祈年祭 (秋の豊作をいのる)
- 三月 曲水の宴
- 四月 更衣 (夏服にかえる)
- 五月 端午の節句
- 六月 大祓 (けがれを清める)
- 七月 乞巧奠 (七夕祭り)
- 八月 月見の宴
- 九月 重陽の節会
- 十月 更衣 (冬服にかえる)
- 十一月 新嘗祭 (収穫の感謝)
- 十二月 大祓 (けがれを清める)



▲年中行事絵巻にかかれた天徳殿。天徳殿は、天皇が政務をみたり、重要な儀式が行われたりしたところ。

## 貴族が信じた迷信は...

平安時代の貴族は、迷信を強く信じていました。たとえば、ものけ(懸)が人にとりつくとか、まじないにたよって、つしましむべき日には茶にもる(物忌)とか、死者や火災などのけがれにふれることをおそれたりしました。こうした迷信は、儀式を欠かす口実などにもなっていたといわれています。

